

2019年度事業報告書

概説

令和の新時代をむかえ、当財団もこれからの時代に求められる奨学事業の在り方を考える一年でした。

1996年、12名の私費留学奨学生から始まった奨学金支給事業はその後、短期留学生、派遣留学生と対象を拡げ、2019年度には延べ900名を超えるまでになりました。この間、学生を取り巻く環境も大きく変わり、国の壁を越えた修学、研修が一般化する一方、経済的な問題で学業、研究の継続が困難となっている学生の存在が社会問題になっています。

本事業年度下期から、新たに授業料補助制度及び来日する短期留学生の一時金の増額を決定しました。対象をさらに広げて、より多くの学生を支援できる仕組みを考えています。

2020年に入り、新型コロナウイルス感染防止のための都市封鎖により、多くの大学が封鎖され、特に派遣留学中の学生は多くが早期帰国することになり、3月決定の派遣留学奨学生合格者の中からも辞退者が相次ぎました。

当財団の運営においても、2月のスピーチコンテストが「原稿によるスピーチコンテスト」になり、3月の選考委員会は書面選考とすることを余儀なくされました。

行事等の中止に伴い、支出が抑制されたため手許資金は例年に比べ余裕のあるものになっておりますが、経済環境の悪化に伴う次年度以降の配当金等の減収に備え、予定していた25周年事業特定資産及び交流会館建設準備積立金への繰り入れは行っておりません。

事業

1. 奨学金支給

奨学金支給	延べ	116名	総額	130,350,000円
授業料補助		30名	総額	6,366,950円

本年度下期から開始した授業料補助は、当財団の奨学生になったことにより大学の授業料免除の対象から外れた学生に対し、年額60万円を限度として支給します。

2. 選考委員会

秋募集	書面選考	2019年10月8日
	面接	2019年10月26日、27日
	応募総数	251名
	合格者数	20名
春募集	書面選考	2020年3月7日
	応募総数	私費 65名
		派遣 25名
	合格者数	私費 6名
		派遣 9名

短期留学書面選考

応募総数 14名

合格者数 10名

※ 当財団奨学生の出身国及び日本人学生留学先の傾向

2015年度以前とその後の私費留学奨学生、短期留学奨学生及び派遣留学奨学生の出身国、留学先の傾向を見ると両期間の間で上位国に変動はないものの、中下位では大きく変動しています。日本の世界における位置づけとともに母国の政情が関係していると思われます。

私費留学生の出身国の推移

1996年～2016年3月		2016年度～2019年度	
出身国	奨学生数	出身国	奨学生数
ベトナム	90	ベトナム	30
マレーシア	88	インドネシア	24
インドネシア	71	マレーシア	18
タイ	47	タイ	12
バングラデシュ	44	カンボジア	9
スリランカ	28	インド	7
ネパール	19	ラオス	4
ラオス	16	ミャンマー	3
ミャンマー	15	スリランカ	2
インド	14	ネパール	2
フィリピン	14	パキスタン	2
カンボジア	9	フィリピン	1
シンガポール	8		
パキスタン	4		
ブータン	2		
合計	469	合計	114

短期留学生の出身国の推移

1998年～2016年3月		2016年度～2019年度	
出身国	奨学生数	出身国	奨学生数
インドネシア	33	タイ	20
タイ	31	インドネシア	12
ベトナム	18	ベトナム	7
マレーシア	16	カンボジア	5
フィリピン	13	ラオス	4
カンボジア	12	シンガポール	2
シンガポール	9	フィリピン	2
インド	5	ミャンマー	2
スリランカ	2		
ミャンマー	1		
ラオス	1		
ネパール	1		
合計	142	合計	54

派遣留学奨学生の留学先の推移

2004年～2016年3月		2016年度～2019年度	
留学先	奨学生数	留学先	奨学生数
タイ	34	シンガポール	15
シンガポール	28	タイ	15
インドネシア	9	インドネシア	7
カンボジア	9	マレーシア	6
フィリピン	8	カンボジア	2
マレーシア	7	フィリピン	2
ベトナム	4	ラオス	1
ラオス	4	ミャンマー	1
インド	2		
ネパール	2		
ブルネイ	1		
合計	108	合計	49

3. 交流会・認証式

2019年4月6日	派遣留学説明会及び派遣SATOM会 株式会社サトー 会議室
2019年4月7日	認証式及び4月交流会 株式会社サトー 会議室
2019年6月8日、9日	6月交流会 関西一泊旅行「姫路・神戸」 姫路城、神戸北野異人館、神戸海洋博物館・川崎ワールド 等を見学 ANAクラウンプラザホテル神戸
2019年7月6日	SATOM会「歌舞伎鑑賞」 ルポール麴町 国立劇場
2019年8月6日	8月交流会 「防災体験学習」 そなエリア東京（東京臨海広域防災公園）
2019年10月5日	10月交流会 「運動会」 よみうりランド
2019年12月8日	12月交流会 「派遣留学報告会」 日本青年館ホテル
2020年2月	2月交流会 「スピーチコンテスト」 新型コロナウイルス感染防止のため中止「原稿による スピーチコンテスト」を実施

*金賞受賞作品を別添

4. 生活報告書等

全奨学生からの毎月の生活報告書により、恙ない日々を確認するとともに、修学、研究や生活環境における悩み等を感じし、対応支援を行っている。

5. 機関誌

機関誌「S I S F」第22号 1,400冊

SATOM通信

奨学生、SATOM、大学のほか関係各機関に配布

運営

1. 評議員会

2019年6月6日	議決	第11事業年度事業報告及び計算書類等の承認 理事の選任 監事辞任承認と後任監事の選任 会計監査人選任
2019年9月3日		財団の今後についての意見交換
2020年3月26日	書面議決	第13事業年度事業計画及び収支予算案等の承認 理事及び監事の報酬決定

2. 理事会

2019年5月21日	議決	第11事業年度事業報告及び計算書類等の承認 代表理事及び業務執行理事の選定 2019年短期留学奨学生選考結果承認 運営諮問委員選任
2019年6月6日	書面議決	代表理事選定（再） 業務執行理事選定（再）
2019年6月25日	電磁議決	業務執行理事選定 評議員会招集
2019年9月3日	議決	短期留学奨学生推薦に関する協定大学承認 奨学生規則違反奨学生に対する処分と今後の対応に関する承認 短期留学奨学生奨学金の増額及び私費留学奨学生に対する授業料支援に関する承認 財団の今後についての意見交換
2019年11月17日	議決	2019年10月期及び2020年4月期私費留学奨学生（秋募集）承認 短期留学奨学生の交換留学一時金増額の承認 奨学金支給規程改定承認 派遣留学奨学生推薦に関する協定大学承認 選考委員選任 評議員会招集
2020年3月19日	書面議決	第13事業年度事業計画書及び収支予算案並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認 2020年4月期私費留学奨学生（春募集）承認 2020年派遣留学奨学生承認 会計監査人の報酬決定 定時評議員会招集 奨学金支給規程改正承認

3. 事務局

業務執行理事	大塚 正則
事務局長	林 裕美
事務局次長	牧野 加夏
事務局員	石川加奈子